

全6公演 総入場者数 645 名／回答者数 483 名（回答率 75.5%）

◆年齢について

10 歳未満	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
4	24	29	49	68	80	130	95

◆舞台を観るのは

はじめて	めったに観ない	ときどき観る	しばしば観る
47	117	222	87

----- 仙台公演 -----

※以下、文末に（回答者の年齢／「あなたの故郷はどこですか？」への回答）を付加。文中の〔 〕は集計者による補足

同じ名前の日和山という地名があったり、海が見える桜のきれいな花見する場所があったりと、自分の地元と似ていて、しかも、田舎あるあるの親戚話と方言にとっても親近感が湧きます。きっと今は会えなくなった愛しい人たちがいる人は、この芝居を見たら胸が苦しくなると思います。ユーレイでもいいからこんな風に会いたって。本当にこのお芝居がたくさんの人に届いて、その人たちの心を癒してくれることを願います。すばらしい作品でした。（40代／石巻）

方言で話しているのがとてもなつかしい気持ちになりました。それから日和山も。絵永けいさん〔よしみ役〕の演技がとても素晴しかったです。石巻の実家の雰囲気が出ていて、見ていてとても親しみが持てました。この作品を通して伝えたかったことが痛いほど分かります。とても素晴らしい演劇を見せて頂きました。（10代／石巻）

すごくわいわいした雰囲気をニコニコとして見ていたのに、最後そういうことか…ってゾワッとして切なくなりました。泣きました。久しぶりの帰郷で家族に会えて良かったね。すばらしい80分を過ごさせていただきました。（20代／福島県白河市）

最後の誠一の言っていること、また、そのシーンに家族からもらった言葉がすごく今の私と重ねてみえてきちゃって、ものすごく共感してしまいました。何をやっても中途半端で、何をやってもうまくやれなくて、それを何もかも受け入れてくれるのは家族なんだなと今日改めて気付きました。命と時間と家族の大切さをまた気付くことができました。ありがとうございました。（20代）

方言で話しているのが正月やお盆の時に会う親戚のことを思い出してとてもなつかしくな

りました。家族がいなくなることはとても悲しいことですが、自分もまた新しい家族を創れたらいいなと思いました。(10代/仙台)

大切な家族と死別したとしてもそれを乗り越えて前に進まなければならない。けれどもやはり以前の時間を忘れることはできないという辛さ、あるいは人間の尊さとも言える(個人的に)ものを私も違う形で体験したことがあるのでとても共感しました。皆様、お疲れ様でした。(20代)

号泣です。いろんな思いを感じて、たまらない気持ちになりました。相澤さんがこの物語に込めた思いを少しでも受けとめられたらと思います。役者の皆さんもすばらしく、なにより方言だったのが身近でよかったです。ありがとうございました!!(40代/仙台)

震災・天災で亡くなられた方々からのメッセージとしてうけとめます。感動しました。あったかい気持ちになります。この後の公演もご成功をお祈りしています。(30代/東松島)

「また今度」などと言っている自分に一喝の作品でした。再演を求めます。(40代/石巻)

すばらしい作品に、すばらしい演技に、とても感動しました。もっともつこの作品をいろいろな人たちに見ていただけたらと思っています。心から笑い、心から涙しました。(60代/栗原市)

おだやかな、はげしい、芝居でした。来てよかったです。(50代)

重いテーマをよく演じてくださいました。(70代)

のぞみくんが可愛くて可愛くて、それだけにきつつい…。記憶が書き変わるのが恐くて、いまだに行けずにいる実家のあった町を思い出しました。(40代/牡鹿町給分浜)

悲しかったです(50代/塩竈)

6年経ってようやく受け入れられるようになったかもしれない物語だった。リーディングもよかったけど、甲乙つけられないですね。東北以外でどう受け入れられるかが気になります。(40代/仙台)

様々な家族の関わりを通じ、親やおじさんおばさん、祖父母の方々の思いが亡くなった後にも強く残っていると、生きている人の思いと通じ合って、お花見の情景を舞台にキセキといえる出会いの場が生まれたのだと思いました。とても良い物語になっていると思います。東北弁温かく感じられました。これからも多くの地域で上演して頂きたいと思います。あの時のことを忘れないためにも。(60代)

言葉にすること むずかしいですが 亡くなった方が皆 このようにおだやかであってくれたらと 少し救われます ありがとうございます。(40代/福島県南相馬：私も津波の中を避難しました)

重たかった。日和山で花見をして居る人たちは実は津波で亡くなった人だとラストに解った時、重たかったなあと思った。しかし、そんな家族の風景が丁寧に描かれており、素晴らしい作品だと思った。(10代/仙台)

おだやか。静けさの表現なかなかのもの。天のおしおきに声を張り上げることもなく、自然に受けとめる。まさに仏の境地か。すばらしかった！(80代/関上)

涙が出て おもいだしました。(60代/七ヶ浜)

心打たれました。家族の深い愛情に涙しました。何気なく過ごしている毎日、改めて思い直したいと思います。(60代/茨城)

東京の友人から「NHK ラジオ深夜便で知ったけど…」とTELあり「見た方がいいよ、近いなら私も行きたいなあ」と連絡をくれました。後半の二人の会話、ああこういうことですか…。東京公演があればいいですね…ありがとうございました。東松島市と亘理町に友人がいて二人とも津波で被災、自衛隊のヘリコプターで救助されました。(70代/岩手県花巻)

感動しました。ありがとうございました。最後の方でどんでん返し、すばらしい脚本・演出でした。あれから6年、このようなあのを振り返るものがこれからも上演されることを期待します。(60代/仙台)

言葉にするのはむずかしいが、一生忘れない舞台でした。涙が止まらない。(30代/仙台)

〔アンケート設問への回答で〕「舞台を見にめったに行かない」とは、うまく表現できないのですが、絵画でいうところのロバート・ラッセンのようなうまく作り上げられた印刷のような絵画、的な芝居はきらいだから。絵画でも音楽でも本物にしか持てない力があり、それはエッジ感だと今年の春に行ったルノワール展で感じました。えー、何を言いたいのかということ、このファミリーツリーには本物が持つエッジ感が感じられました。(50代/仙台市宮城野区)

関上出身で、新聞で知り是非見たいと思い駆けつけました。涙がとまりませんでした。(年齢不詳/関上)

方言での表現は、皆さん地元の人なのか、とても自然で、それがこの家族達のつながりを

温かいものを感じさせられた。大震災の津波が失ったものの大きさ。でも家族が大事だからこそ大事なもので、我が家の大家族だった頃のつながりを思い出しながら観ました。何故か涙が止まりませんでした。(70代/仙台市若林区)

私は震災があった時大阪に住んでいたのですが、今回観劇して、住んでいた方々、震災で被害にあった方々の思い…考えさせられました。この作品を書いた方の故郷についての思い、ひしひしと感じました。(30代/大阪府)

大学で方言の勉強をしているのですが、先生から方言の劇があると教えていただき観に来ました。内容もあらすじもほとんど知らず前情報なしで来たのですが、終盤のどんでん返しにおどろいて、仙台の荒浜の知人(存命ですけど)のことを思い出し…うまく形容できないのですが、面白かったです。ありがとうございました。(20代/長野)

芝居を通して私自身の生と死を考えさせられました。出演者の皆様の演技とても伝わって来ました。(70代/仙台)

台本を読ませていただいていたので、配役のイメージと若干のズレがありましたが、期待にたがわぬ素晴らしい作品でした。自然な演出とおだやかな流れにひきこまれました。本日、南三陸町からの帰りでこの劇を中心に旅行の計画を立て、大川小の児童を亡くされたお母さんとお会いし、いろいろ話をうかがった後でしたので、よけいに気持ちが増幅されて感慨深かったです。心に残る劇、自分のこれからの活動の糧と致します。ありがとうございました(60代/世界のいたるところ)

「ファミリーツリー」の意味がおぼろげながらわかったような、ぼんやりした状態です。毎朝、仏壇や神棚にご飯と水をあげながら昔のことを思い出す。また、最近亡くなったおばさんの葬式の時の気持ちを思い出したりし、いろんなところでつながっている人との思い出が本当に大切なものになっていることに気がついてきた。来週の名取での公演を観て続きを考えたいと思います。(60代/丸森)

泣かされました。人は一人では生きていない、生きていけない生き物。だから、そこに思いやりが生まれる。大切にしたい人間性にまた気づかされました。(60代/人と人との間で自分らしく生きている場)

演劇の練習風景を見せていただき、そしてこの公演をまた見せていただきました。一人ひとりが、よりそこに存在している！と感じ、死んだ人たちがいきいきといる不思議さと、その後の亡くなっていたのだと私達に示してくれるシーンの鮮やかさが胸に迫ってきました。本当に、大切に生きていかなければと思いました。(60代/塩竈)

ひいばーちゃんちに帰ったみたいだった。(10代/仙台)

現実でああいう花見や生活があればよかったと思うととてもくやしいけれど。日常を大事にしなくては、感謝しなくては、と改めて思えました。ありがとうございました。(30代/女川)

感動でした。私も実家を流され5人を亡くしました。健康であっても突然生命を無くすことがある。生命あるだけで奇跡です。一日一日を大切に真剣に生きたいと思います。ありがとうございました。(70代/七ヶ浜町菖蒲田浜)

素晴らしい内容でした。特に若い世代の人たちに見てもらいたいと思います。日本全国で上演していただきたいと思います。本当に良かった！(60代/仙台)

「その時が来るまで」 街の風景が変わってもそこに暮らす人々の心は変わらない。“閑上人”としての魂を信じております。(40代)

とても感動しました。涙が止まりません。こういう形で震災の悲しみを是非ずっと伝えていってほしい。娘や孫にも見せたいです。(60代)

両親と両祖父母を亡くしているので、とても心にしみました。来月の祖母の命日には大好きだったゆべしを買ってお墓参りに行こうと思います。どうもありがとうございました。(60代/登米)

赤ちゃんの頃から知っている男の子も6歳の時に津波で流されてしまいました。その子はたった一人だったので、のぞみくんはおじいちゃんとおばあちゃんが一緒によかったな、などと考えてしまいました。(50代/仙台)

現実ですね。失われつつある現実。失いたくないですね。あの家族うらやましい。すごい熱演でした。(70代/山形)

おもしろかったです。仙台5年目なので方言はわからないところも多いですが、わからなさがおもしろく感じました。(宴会の何言ってるかわからない感)。太郎さん〔茂役〕、次郎さん〔勝男役〕がツボにハマってしまいました。(20代/大阪府吹田市)

〔作者は〕遠くに住んでいて、きっとただ故郷が流れていく様子を見ているしかなかったのでしょうか。そういう悔しさが癒える(まだ癒えてはいないのかもしれませんが)のに時間がかかったのかと思いました。役者さんたちの演技がすばらしかったです。おんつあん、おばさん達の仙台弁は親戚の集まりに行ったようなゆううつさを覚えるくらいリアルでした。見に来てよかったです。語り継いで行ってください。(40代/仙台市四郎丸)

「演劇の力」を突きつけられる素晴らしい時間をありがとうございます。あたり前の日常がどうしようもなく奪われたり、おびやかされた時、形のない理屈のない、けれど確かなも

のに、人はすがらないと生き続けることができないと思うのです。言葉にならないもの、こと、を大切にしようと思わせてもらえる舞台でした。(20代)

どこにでもあるような日常が描かれていて、「あ、こういうおんちゃんいるなあ」と思いながら見ていました。こんな日常を一瞬で、ふいに、向こう側にもって行かれてしまったのだな、と心に強く強く響きました。やりきれない、心の声っていくほどあったのか…役者さんの演技のすばらしさもあって、涙、涙でした。(30代/古川)

あの日生まれた子はこんなに大きくなるんですね。生きていたらなんて考えていたら、とてもこみ上げるものを感じました。戻りたくないのではなく、戻れないんじゃないかなと思う。大切な人達を失った場所だから。つらいから。後悔のある場所だから。忘れられない事だなと感じます。ゆっくりゆっくり向き合っていないとですね。ありがとうございました。(10代/仙台)

地元の言葉で語られる芝居はすんなりと耳に入ってきて、よけい心に届きます。タイトルの「ファミリーツリー」、まさに家系図を目の前で見せられ、それがつながっていく、また、とだえるもの。切ない気持ちと期待の持てる気持ちでした。震災直後は直接的なテーマで演じられるものが多かったように思うが、数年たって、あの震災があったからのテーマが描かれたのかな?と思います。観に来られてよかったです。(50代/仙台)

とても温かい気持ちになりました。どこにでもある家族のありのままが表現されていて、あるあるなことが多く、笑えました。家族や人とのつながりをこれからも大切に日々暮らしていきたいです。ご先祖様に感謝。(30代/仙台)

結末が驚きでした。が…あの津波で命を落とされた方はあっという間の事でどんなに無念だった事か…この舞台を一過性のものにせず、長く上演して頂ければと思います。素晴らしい作品に出会えました。ありがとうございました。(40代/関上)

家族のあったかさを感じて、笑えて、泣けて、生きていて私もよかったです。(津波で流されて、生きたい生きたいと願って助けを待っていた時を思い出しました)今日はありがとうございました。(60代/仙台市宮城野区)

私達の気持ちを形にしてくださりありがとうございます。つたえる事を形にしてくださりありがとうございます。伝えて行く事の大切さもつらさをこえている事。心が、人を丸くしますね。形は違って伝える事をして行きたいと思いました。思い出は、心の宝もの。思い出は人を丸くしますね。ありがとうございます。(50代/仙台市宮城野区岡田字浜通。ふるさとは変わりましたが、思い出は変わりませんね)

はじめてリアルに3.11を感じました。(30代)

震災とどういう関係が…？と思いながらみていて、最後はただただ号泣でした。実家が被災した身としては、いろいろ思うことがありました。「ある！ある！」って感じの親族一同の会話はとてもおもしろかったです。演劇の良さを知ることが出来ました。また機会があったらみてみたいです！（40代／岩手県宮古）

あったかくて、涙がとまりませんでした。生きていく力、がんばっていこうというパワーをもらえました。すばらしいお芝居でした。ありがとうございます。（20代／山形）

ホッとする温かい劇でした。あのとき被災した人たちは今どうしているのか考えさせられました。（60代／仙台）

大切に抱えていたいことに遠慮なくどっぷりひたれる時間。ありがとうございました。（40代／ここと言いたい）

----- 名取公演 -----

昔、閑上の家にお盆や正月にみんなが集まって楽しい時間を過ごした事を思いだし、懐かしくなりました。震災後、集まる場所も、まとめる人もいなくなり、さみしい現在です。閑上にあったあの日の光景ですね。この舞台に日和山がみえました。津波で大切なたくさんの人や物を失ってしまいましたが、閑上に住んでいた人の心、気持ちはちゃんと残っていると感じています。心に残る素敵な舞台をありがとうございました。心から感謝します。（40代／閑上）

とてもよかったです。閑上の風を思い出しました。ありがとうございました。（30代／閑上）

宮城の家族物語として後世にも残して欲しい演劇の一つだと思います。家族の愛、そして津波によって引き裂かれた事も残された記憶も思い起こさせられる物語だと思う。配役も何もかも素晴らしかった。有難うございました。（30代）

津波で亡くなった方に対する会場の反応に、会場の方々の共感の強さを感じました。〔名取公演では〕仙台公演とはやや違いがあり、津波への思いが伝わってきました。「つながっている。つながってほしい」はいい言葉ですね。最近、お婆の葬式で感じてきました。（60代／丸森）

津波で家族を亡くされた方々もきっと夢でもいいから会いたい、別れも言えず突然離ればなれになり、言いたいこと、聞きたいこと、どんな思いでも、この劇のように別れて謝りたいこと、願い、希望 etc…聞かせてやりたいと思って見ておりました。こんな近くで普段着のごくごく日常に私たちも演技者の中の一人として入っているような素晴らしい演技

でした。ありがとうございました。今、身近にいる人たちにも出会った限りは優しくできるようにしたいと思いました。(60代/宮城県南部)

ありがとうございました。亡くなっていった方々の声が聞こえてくるようで救われた人がたくさんいたと思います。もっとあちこちで上演されますことを祈っております。(50代/秋田)

本当に感激致しました。古き良き閑上の状況が思い出され、なつかしく悲しく、そしてうれしく涙が出てきます。職場が閑上にあり、閑上の人々の情を感じていました。本当にありがとう。また見る機会を是非作ってください。(70代)

そんな人がいた、あんな人がいたと思ひあたる人がいっぱいでした。閑上の会話が盛りだくさんでした。(60代)

なつかしい感じと温かい感じが最高に良かったです。昔を思い出しました。震災前の我が家も似た雰囲気がありましたから楽しかったです。ありがとうございました。皆様これからも頑張ってください。(40代/閑上)

日和山の八重桜は遅咲きで5月末の宵桜を楽しんだことが思い出されました。みんなで囲んだ宴席も夜風がしみて、向かいの三五〔居酒屋か〕に席を移して呑み明かしたものです。(60代)

役者さんの一人一人が閑上の色んな人たちを演じていて、先に行った人たちが生き返って見えました。閑上の人間にとって特別な劇でした。今、見ることができ良かったです。ありがとう！(40代/閑上)

いや～うらぎらったなや！おらいの親戚集まっとあんな感じなんだっちゃ～。普通の人々がある日突然いなくなった…。皆、思いは同じ。良いお話でした。ありがとうございました。なとりがんばっぺな！！役者さんみんな地元の人なんだべが？違うなら、名取弁じよんた〔上手〕だよ～。(50代/ここdegas!)

家族のつながりって素晴らしいですね。実家になかなか帰らないのですが、帰って兄弟たちと語り合いたいなと思いました。凄く感動しました。作品について、ほのぼのとした話だなと感じていましたが、最後にどういう状況か分かっていたたまれない気持ちになりました。演者の方々の素晴らしい演技に感動しました。いっぱい練習してるんですね。また見に来たいと思います。ありがとうございました！(30代/奈良)

なにげない日常…という視点、やっぱりここが肝かなあと感じました。名取二中の避難所、高館の避難所でお世話していた日々を思い出してとてもつらくなりました。(60代)

会話や空気感が自然すぎてびっくりしましたし、世界に引き込まれました。津波のあとに自分は宮城に来たので、みなさんの思いなどに少し触れることができたのも良かったです。(30代)

津波で町は一瞬にしてなくなりましたが、心の中にはずっと残っていることを改めて思いました。本当に感動しました。(40代)

仙台公演を観て、今日は予約なしでキャンセルがあれば観たいと思い来ました。これだけでなく、いろいろな場所での公演をお願いしたいです。何度でも観たい。(60代/宮城)

なつかしいなまりを聞いて心があつたまりました。あの津波でおばさんを亡くしたのでこの舞台におばさんがいるような気持ちになりました。もっともつこの舞台をたくさんの人にみてもらいたいです。正治さんがとても好きなキャラクターです。(40代/関上)

昔の親類での寄合や関上の風景を思い浮かべながらなつかしくも楽しく拝見しました。最後のシーンでは津波で亡くなった従弟の言を思い出し、自分も似た背格好の人を見ては、従弟の姿を重ねていたことを思い出しました。作り手の関上やその暮らしに対する思いがすごく伝わってくる演劇でした。ありがとうございました。(50代/関上)

みんな一人一人家族や人とのつながりがあるという事を改めて感じる事ができました。亡くなった人とも姿はないけどつながっているんだと思いました。ありがとうございました。(40代/岩沼)

会場にはたくさんのお見えの方々が来場しているようでした。霊の演劇をこれからも大切に届けていってください。また、声だけの作品も拝見したいと思いました。ありがとうございました。(50代)

声高々に訴えるのではなく、家族の日常会話にいろいろ深いものを感じました。温かく故郷を思い起こし、あつという間の時間でした。古里離れて47年、傷ついた関上。でも明るい未来になるよう祈るばかりです。(70代)

関上出身です。この日を楽しみにしていました。何もなくなった関上ですが、いつまでも故郷です。(60代/関上)

一人一人の胸に去来するものが見えるようで胸に迫りました。家族が家族を思う、そして新しい家族が増え、つながっていく。人々の営みが大切でいとおしい気持ちになりました。とても感動しました。(60代/大阪府門真市)

亡くなった人と一緒に生きているのを改めて想います。いつでも、となりに居るんですね。(50代)

スゴイ作品が誕生しました！なにげない日常的一幕になぜこんなにひきこまれるのか？ラストで気付かされます。家族の大切さに。この作品がスタンダードになるようにこれからも演じ続けてください。みなさまお疲れさまでした。ありがとうございました。これから用事があるのに感動の涙がとまりません…（40代）

すばらしい演劇ありがとう。なんだか最初の最初から涙が出て尽きませんでした。演劇っていいなあって心から思いました。「ファミリーツリー」好いタイトルですネ。そのとおり。本当にこの辺の一般的な家族風景ですネ。どこで3.11が出てくるかな～と思って見えました。一つひとつの演出がすてきです。最後まで泣いてました。ありがとう♡（60代/名取）

この歳になるとみんな「あの時は良かった」と思っていると思う。この頃は人との関わりもなくなり、メールで済ませてしまったり。人生はあっという間、一日一日を大事に生きていこうと思った。感動しました。今回は無料で申し訳ありません。このような機会をありがとうございました。（60代/秋田）

大変大変良かったです。いろいろなつかしかったです。演者の方もみんな個性があって非常に良かった。もっと何年もかけて続けて欲しいです。（40代/関上）

会場全体が花見しているような雰囲気になっていました。なんだかしあわせだな～となったあとにお別れのときがきてせつなくなりました。家族を大切にしたいです。（70代/家族）

自分の年齢も考えて、いつまでも関上の気風がなくなるように心にとめておきます。（70代/関上）

どんなにうっとうしくても地元を大切にしたいくなりました。（20代/岩手県二戸）

とても感動的でした。6年経っても何も変わらない哀しみを感じました。（50代/青森）

会話にすごくリアリティがあり、脚本がよくできているなあと感心しました。最近観た演劇で最もいいものでした。ありがとうございました。（40代/岩沼）

とても素晴しかった。マボイ。〔関上弁で「カッコイイ」の意〕（50代/関上）

以上